

例会報告：2013年7月16日（曇り） 第1806回 通常例会

❖ 奥様誕生日

小林 洋子さん（7月21日）

❖ ニコニコ箱

太田 忠委員

	ニコニコ箱	累計	目標
7月16日分	18,000	114,000	1,300,000

当日、卓話を頂きました株式会社帝国データバンク横浜支店 情報部長の野島達也様より、謝金をニコニコ箱に頂きました。

*奥様誕生日

小林 泰二さん…家内の誕生日を祝って頂き有難う御座います。

*その他

清 康夫さん…7月13日、当社フジミ経営会議をアマダのフォーラム246にて朝9時より5時まで行い、1年間の目標、人事等々全て終わり、7時迄食事会、7営業所、45名の社員ととても盛り上がり、無事に終わりましたので少々。

村瀬 雅貴さん…今月は入会月です。早いもので23年になります。少々。

小嶋 章司さん…今月はロータリー入会月です。最初の例会が第1005回でした。今日の例会が1806回、差し引き801回連続で出席しています。健康に感謝しています。

2013～2014年度 第1回アクターズミーティング in 小田原（続き）

<http://ameblo.jp/so-rry/entry-11576797381.html>



❖ 小田原城北RAC移動例会（小田原ちょうちん夏祭り）—2013年7月21日—

<http://ameblo.jp/so-rry/entry-11577511322.html>



RAC

会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年7月-

- ▶ 24日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:神山洋介様/二宮尊徳」
- ▶ 25日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「卓話:クラブフォーラム」
- ▶ 26日(金) 湯河原 湯河原観光会館 12:30
「卓話:ガバナー公式訪問」
足柄 7月27日(土) 家族親睦納涼例会へ振替の為休会
「卓話:」
- ▶ 29日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:相澤光春ガバナー/ガバナー公式訪問」
- ▶ 30日(火) 箱根 特別休会
「卓話:」
- ▶ 31日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:横森正樹様/日本の農業」

-2013年8月-

- ▶ 1日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:財団奨学生・真継 蘭様」
- ▶ 2日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:高橋延幸会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:佐久間俊治様/
酒匂川の治水と日中に王を訪ねる旅」
- ▶ 5日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム/会員増強」
- ▶ 6日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:クラブフォーラム/会員増強」
- ▶ 7日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:井島誠行AG/ガバナー公式訪問 2W前」
小田原城北RAC マロニエ19:30
「卓話:露木清勝小田原城北RC会長」
- ▶ 8日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:大島 武様(故 大島渚監督のご子息)/未定」
- ▶ 9日(金) 湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:杉山茂久会員」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:クラブフォーラム/会員増強・会員維持」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：金山 慶昭
 編集長：久保田 知子
 コピーライター：大川 誠
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：小川 和夫・志澤 昌彦

会員数：50名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2013-2014
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ロン D. バートン
【R.I. 2780地区ガバナー】
相澤 光春
【第9グループガバナー補佐】
井島 誠行



【会長】露木 清勝
【副会長】須賀 俊和
【幹事】金山 慶昭
【副幹事】木村 頼弘
【会場監督】杉崎 勝成

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

本日の例会：通常例会（第1807回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2013年7月23日 12:30～13:30

司会：木村 頼弘 副幹事

12:30	開会点鐘：露木 清勝会長 ローターソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：会員増強委員会 卓話：荻原保典地区会員増強・会員維持委員長 (相模原西RC) 「会員増強について」
13:30	閉会点鐘：露木 清勝 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

7月30日 通常例会 12:30

担当：新世代育成委員会

卓話：清水寿人地区青少年交換委員長(相模原柴胡RC)
「青少年交換プログラムについて」

8月6日 納涼例会(移動夜間例会) 17:30～20:30

担当：親睦活動委員会 送迎バス小田原駅西口16:15発

会場：ヒルトン小田原リゾート&スパ
受付:17:00～17:30 会費：10000円・ご家族他8000円
例会:17:30～18:00
宴会:18:00～20:30
「美味しい食事と音楽大生によるオペラ鑑賞で心を癒すひと時を」

8月13日 休会

8月20日 通常例会 12:30

担当：プログラム委員会

卓話：新会員
「イニシエーションスピーチ」

2013～2014年度 国際ロータリー第2780地区ローターアクト 第1回アクターズミーティング

地区ローターアクト委員 久保田知子

第1回アクターズミーティングが2013年7月20日（土）、川東タウンセンターマロニエにて開催されました。地区副幹事・新世代奉仕委員長を始め、大勢のロータリアンに参加戴きました。露木会長もお忙しい中駆けつけて戴き、最後までお付き合い下さいました。ありがとうございました。

本年度も2780地区アクトクラブは相模原・鎌倉・横須賀・小田原城北の4クラブで活動していきます。

前半は、今年度のクラブ運営について話し合われました。毎年の課題である会員増強について、本年度は具体的かつ活発な意見交換がなされました。4クラブとも会員数は平均7～8名で30歳で卒業を控えておりますので、補充プラスで増強しなければならず本年度はインターアクト・学友に積極的に声掛けをしていくことになりました。相模原RACはロータリアンのお声掛けでアクトに入会する例が多いとの事でした。我がクラブも是非、ご協力宜しくお願い致します。

後半は各クラブ報告とクラブターゲットの発表。
相模原RACは「百聞は一見にしかず」鎌倉RACは「発」、横須賀RACは「繋」 小田原城北RAC「飛翔」です。一年間、ご協力宜しくお願い致します。



例会報告：2013年7月16日（曇り）第1806回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

露木 清勝 会長



先週10日は、我が小田原城北ローターアクトクラブの年初例会でした。私が、会場のマロニエに着くと既に10名ほどのロータリアンの顔がありました。もちろんアクトの地区代表、相模原ローターアクトの小関君を始めアクトの面々、絆友会の宮嶋会長、副会長の荻野君（もちろん我が城北のロータリアンでもあります）そして、ROTEXの諏訪

間陽子さんなど多くの関係者が詰めかけてくれました。その後も、続々とロータリアンが出席をしてくれて、合計15名の城北ロータリアンの出席となりました。こんなに多くのロータリアンが出席する中でのアクトの年初例会は今までに記憶にありません。

また更に、40代前半と見受けられる黒いリュックを持った方が一人「こんばんは！」の挨拶とともに会場に入って来ました。またどこか他ローターアクトクラブのOBなのかなと思いましたが、なんと横浜鶴見西ロータークラブの反田照久さんというロータリアンでした。他クラブのロータリアンしかも他地区からということで、大変嬉しい、羽生会長の船出となりました。

また、今週20日土曜日には、第1回アクターズミーティングが13：00よりマロニエで開催されます。ガバナーを始め地区役員の皆様方が出席されます。多くの皆様のご参加をお願い致します。

今年度重点目標の一つ、「新世代、ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化」の目標実現のためにも、アクトを中心に多くのロータリーファミリーとの意見交換をする中から、我々の奉仕活動の方向性を示すような内容まで引き出す事が出来れば大きな一歩となるはずですよ。

今後ともローターアクト・絆友会・ROTEX・青少年交換学生等々、新世代の取り組みに皆様方のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

❖ 幹事報告

金山 慶昭 幹事



1) 上田会員よりご紹介いただいた松島勝典さんについて異議申立がなかったため正式に会員となりました。
2) 地区より第2780地区ロータリー財団奨学生・ロータリー奨学生・ロータリー平和フェローシップ 奨学生・ロータリー財団奨学金 奨学生・職業研修チーム(VTT)メンバー 募集の書類が届いています。ご推薦の方が居らっしゃいましたら事務局に資料がありますのでご覧ください。

❖ 出席報告

一寸木 信雄 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月16日	50(48)	42	2	91.67%
7月9日	50(48)	43	1	91.67%
7月2日	50(49)	45	1	93.88%

【欠席者】 6名
小楠 雅昭、大川 裕、一寸木 信雄、荻野 善明、石内 正彦、高橋 哲也
【今回MU】 2名
小楠 雅昭 (7/10 小田原城北RAC)
荻野 善明 (7/10 小田原城北RAC)
【前回MU】 1名増加
小林 泰二 (7/10 小田原城北RAC)
【前々回MU】 1名増加
菊地 義雄 (7/11 小田原中RC)

❖ 委員会報告

親睦委員会・柳井委員

納涼例会のご案内です。8月6日、ヒルトン小田原リゾート&スパで、会員の会費は10,000円、ご家族・アクトの皆さまは8,000円です。受付が5時から5時半、例会が5時半から6時まで、宴会は6時からです。送迎バスは西口14：15のみです。ご希望の方は予約欄に利用すると書いて申し込んでください。帰りは小田原駅までのバスが出ます。

ローターアクト支援プロジェクト委員会・須藤委員長

7/20 (土) 13：00より、マロニエにて、第1回地区アクターズミーティングが開催されます。参加できる方は本日中午に私までご連絡ください。

会報委員会・小林委員

ホームページで会報のバックナンバーを見られます。会報の内側に「会報のバックナンバーのご利用ガイド」として案内させていただきました。とりあえず昨年度分をご用意しましたので、ぜひご覧ください。パスワードとIDは慎重に扱っていただき、ご利用なさらない方は用紙本体を私にお返しいただければ処分いたします。

会員増強委員会・桜井委員長

7/14 (日) 2780地区の2013～2014年度地区会員増強セミナーに小島地区委員、当クラブの齊藤大委員長と3人、藤沢産業センターで参加しました。2780地区各会員増強委員の方が集まり、パネルディスカッションやグループ討議などを行いました。会員を勧誘するに当たって、真正面からロータリーの良さを説くアプローチだけでなく、違う切り口のアプローチも必要であると感じました。一人一人に合わせた心に響く言葉を考えながら勧誘したいと思います。

❖ Table Flower

●ひまわり
●スプレーカーネーション
●ソリダコ
●アレカヤシ
ひまわりの花言葉は「あこがれ」「崇拜」
スプレーカーネーションの花言葉は「集団美」
ソリダコの花言葉は「私に振り向いて」



❖ 卓話

「円滑化法終了後の倒産動向と危ない会社のチェックポイント」
野島達也 様
(株)帝国データバンク
横浜支店情報部



(株)帝国データバンクは民間信用調査会社と一般的に言われています。私のいる情報部は倒産しそうな会社、倒産してしまった会社を追っているセクションです。本日は、近年の倒産動向と円滑化法が3月で終了した後、倒産がどうなっていくのか、また倒産しそうな会社の特徴と注意点をお話したいと思います。

日本には何社くらいの企業があるかご存じですか？約400万社です。休眠会社もあり、実質は160万社とされています。4～5年前までは、年間16,000社が全国で倒産していました。倒産確率は約1%ということになります。ここ4年では減少を辿り、2010年度が11,496件、11年度が11,435件、12年度は10,710件です。負債の総額は2兆9291億で、前年度比25%減少しています。負債額も4年連続で前年度を下回っていて、過去10年で最小の金額でした。

減少はしていますが、それでも45分に1社は潰れている計算になります。特徴的なのは、倒産する企業の約31%が業歴30年以上の老舗であること。会社の平均寿命30年説は、こんなところから裏付けられるのかもしれませんが。

倒産の最多件数は2008年のリーマンショックによる金融危機の1年後、世界同時不況が表面化した頃。最小件数は景気が底入れしたと言われる昨年の冬です。神奈川では2009年度の786件倒産がピークになります。その後3年連続で減少し2012年度は616件でした。負債が10億以上の大型倒産も48件から10件に、負債総額も前年度比67%に減少し、倒産確率は0.9%になっています。倒産が減少した理由は、2009年12月に施行された中小企業金融円滑化法を始めとする各種金融支援策の効果が大きいのです。

うちに限って、とお思いの社長さんは多いでしょうが、一度貸し倒れが発生するとどうなるか、不良債権が出た時にどれだけ売上があれば補えるのか、と考えると分かります。例えば経常利益率が2%の会社なら、1000万円の貸し倒れで5億円の売上を作らなくてはならないのです。貸し倒れ予防は重要です。

倒産企業を業種別に見ると、以前は製造業・建設業が多く、現在は小売業や運送業などの小口倒産が目立っています。得意先の業種、規模などによって倒産のトレンドは変化します。経済環境や取引先によって倒産の確率は変わってくるということです。

円滑化法終了後の倒産動向について

貸付債権の件数は360万件、返済猶予を受けた企業は約40万社となります。弊社のアンケートでは、33%の企業が改善

を上手く進めていないとの回答でした。金融機関で要管理先に置かれている企業も約10万社あります。金融支援を受けていても本業が回復せず事業継続を断念する企業が後を絶ちません。金融機関は返済猶予を受けた企業に、事業転換、事業譲渡、M&Aなどを進めることになりま。しかし何割かの企業は実抜計画（実現可能性の高い抜本的な経営再建計画）が出来ていません。その5～6万社が今後の倒産予備軍となります。

危ない会社のチェックポイントです

倒産までは段階があります。お得意先の変化を見逃さないことが重要です。まず業績が悪化する。それをカバーするためにリストラや資産売却を行ったり、新商品や新規販売ルートを開発する。うまく行かなければ赤字が増え財務に影響が出る。財務が疲弊すると粉飾決算に手を染める。資金繰りが苦しくなって支払条件を変更したり支払遅延が起こる。最後には税金関係も払えず支払不能となり倒産する、というパターンです。

決算書で重要な指標は、損益計算書で当期純利益を自己資本で割る自己資本利益率（ROE）です。内部資産をいかに効率的に使って儲けているかが表れます。もう一つは営業利益を売上高で割る営業利益率です。本業がどれだけ儲かっているか、商品開発力・価格競争力がどれだけあるかは、これで分かります。

数字は悪くないのに急に倒産する企業は決算書を粉飾していることが多く、売掛金・受取手形・在庫を水増し（粉飾3兄弟）、売上を増やして黒字にしたりします。小さな違和感から発覚することもありますので、注意が必要です。またキャッシュフロー計算書も重要です。現金がいくら入っていくら出たかに絞って調べると、おかしい点が見えたりします。

企業を判断するには数字だけでなく、人・物・金を見ることです。思い込みを捨てて発想を変え、普段と異なることを発見して冷静に判断する必要があります。

